

# 道標ない旅 考えて行動できる人

～自立・創造・しなやかな心～



令和5年度 第27号  
2024.1.9発行  
葉山町立南郷中学校  
校長 益田 孝彦  
Tel. 046-875-9494  
Fax. 046-876-0684

<https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/index.html>

## ◇◇ 第27号のダイジェスト ◇◇

1. 能登半島地震・飛行機事故等いつになく厳しい年明けですが、一緒により良い年にしていきましょう。
2. 12月21日に開催した南郷中学校区教育懇話会では、様々な建設的・協力的な意見やアイデアが寄せられました。興味のある方は是非目を通してみてください。
3. 令和7年度に、施設分離型小中一貫校を開校していくことについて、保護者の皆様・生徒の皆さんに周知したい簡単な内容をまとめました。この説明は、令和7年度2年生になっているはずの、新入生説明会でも紹介する予定です。
4. 卒業式は3月12日(火)に実施いたします。

## ◆◆ 2024年 いつになく厳しい年明けとなりましたが、一層自分を磨いていきましょう。 ◆◆

元旦から、日本は厳しい年明けとなりました。家族で一緒に穏やかな正月を過ごすはずだった、能登半島はじめ北陸の方々に、どんな心持ちで接するべきかも上手く定まらない、やや心乱れた正月を日本全体が過ごしたように思います。犠牲になられた方に哀悼の念を捧げるとともに、復興を目指さねばならない能登半島の方々に何か支援ができればと思います。



さて、「考えて行動できる人」この目標を意識した行動をとると、自ずと成長していくことでしょう。南郷中学校は、従来考えられる公立中学校のレベルを超えた、「考えて行動できる」優れた人材を、たくさん世に輩出していきたいと考えています。この夢を託すのがあなたたちです。皆さんの自分磨きに学校も応援態勢がとれるようにしていきたいと思っています。一緒に、より良い年にしていきましょう。

## ◆◆ 南郷中学校区教育懇話会を開催し、地域との連携が一層進む良い会議となりました。 ◆◆

12月21日(木)、南郷中学校視聴覚室で開催された教育懇話会。三十数名の地域の方にお集まりいただき、南郷中学校区に係る様々な情報交換や、具体的に用意した協議内容について、ご意見・アイデア等をいただき実のある会となりました。

参加いただいた組織は、6町内会・自治会、葉山警察署、民生委員、青少年指導員、長柄小PTA、南郷中PTA、合同運営協議会委員、葉山町社会福祉協議会、逗子葉山高等学校、長柄小学校、南郷中学校です。

警察のスクールサポーターさんから県内・葉山の犯罪状況を伺うと、葉山って県内でも犯罪が少ない良い地域なんだなと感じました。地域の方から吹奏楽部の活動へのお礼の言葉や、お祭りやどんど焼き等の情報を伺うと、コミスクのHPが今以上に地域の方に浸透すると良いなと感じたりしました。民生委員さんからは先日学校訪問で訪れたことや、青少年指導員さんからはどんなことを行っているのかを紹介いただきました。PTAからは、長柄小のギョサン飛ばし大会の報告や、南郷中マラソン大会での生徒へのコロッケパン作りの話題など、楽しい情報交換が進みました。

さらに、逗子葉山高校の校長さんからは、1年生の新しい制服とともに新しい学校づくりが始まったこと、敷地の一部は葉山町なので「逗子葉山」と葉山を入れることにこだわって学校名をつけられたこと、葉山町の地域の方と一緒に学校づくりを進めていきたいとのお話がありました。長柄小学校校長からは、長柄小下の交通規制がとれて、逗葉新道に右折進入可能となった報告や、施設分離型小中一貫校についての簡単な案内記事や、長柄小で43年の歴史を持つ「米作り」を担ってくださる皆さんのお話や、コミスクの会議の記事が紹介されていることなどを資料を用いて説明がありました。また、南郷中学校からは、学校便り23・25号を用いて、日の出園脇階段通路が通学路となった話題や、町のスクールミッションと学校が作るスクールポリシーについての説明がありました。



みんなで一緒になって考えたのが、上ノ山公園で実施している駅伝予選大会について、どのようにして上ノ山公園で予選会の実施を続けていけるだろうかという相談です。事前の広報・周知が大切。事前の掲示板設置・事務所での告知・タウンニュースの活用・キャッチコピーで引きつけるチラシの作成配布・走路員協力者への走路員としてのしっかりした伝達内容の確立 etc.と、会を揚げての応援ムードを感じました。また、日の出園階段の環境整備作業への地域依頼についても、概ね賛同をいただき、日が落ちるのが早い冬場、階段照明が十分な明るさがあるかの確認の必要性があるのではといった貴重なご意見をいただきました。

今後考えていかねばならないこととして、①スクールミッションやスクールポリシーに対して地域や保護者の意見が反映される流れはあるのか？ ②葉小学区からは、葉中に行くのが自然では？南郷中に行くメリットが感じづらい。 ③今日の会議に葉山小PTAや、葉山小学校がないことが残念 ④南郷中のバスで地域の方が乗れないようなことは起こっていないか？ といった意見も寄せられました。そういった個々の思いを包含しながら、会全体としては、大変有意義に建設的なものとなりました。

#### ◆◆ 令和7年度に、施設分離型小中一貫校を開校していくことについて ◆◆

令和7年度4月1日に 南郷中学校 長柄小学校は、施設分離型小中一貫校として開校します。  
(学園名は現在検討中です。)

##### ●なぜ小中一貫校をつくるのでしょうか？

→小中一貫教育のメリットとされる教育効果を子どもたちに享受してもらうためです。  
→地域に開かれたコミュニティースクールとして、地域の拠点となる学校づくりも行っています。

##### ●小中一貫校に変わることによって何が変わるのでしょうか？

→一貫教育に期待できること

- ①児童生徒・保護者・教員・地域住民等が一体となって、目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、同じ目的・イメージに向かって系統的な教育を目指すことができます。
- ②一体化した際には、小中学校の先生が同じ学校内にいることで、進学する際の児童の情報共有がスムーズになり、いわゆる中1ギャップと呼ばれる、「環境の変化への不適応」が少ない状況を作っていきます。
- ③校内研究の成果を共有でき、「学び合い」「探究的な学習」等を深め、確かな成果を上げていくことができます。

※令和7年度から開校する南郷中学区小中一貫校は施設分離型です。施設一体型の方が上記の3点をより効果的に行えますが、当面は施設分離型でもできることから取り組んでいきます。

##### ●小中一貫校の教育目標は？

→学校教育目標（令和5年度よりすでに両校の目標がそろっています）

「考えて行動できる人（子）」～自立・創造・しなやかな心～

「自立」 責任ある行動をとる力

「創造」 新たな価値を創造する力

「しなやかな心」 対立やジレンマを克服する力

※学区のねじれについては、教育委員会とともに課題として把握しています。今後、対象エリアの皆さんのご意向を確認しながら、解決策の検討を進めます。葉山町のスクールミッションのもと、両学区（中学校）ともスクールポリシーを策定するので、両校の教育内容に大きな差異はなくなっていくものと考えられます。

#### ◆◆ 本年度の卒業式は、3月12日（火）に実施いたします。 ◆◆

各ご家庭2名までの参加が可能です。開始時刻も30分早まり、9時半開始です。